

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

**【研究課題名】**：心臓血管手術における術後せん妄発症の要因探索

### 【研究目的】

せん妄とは、認知症の病気では説明できない認知機能の障害（記憶欠損，見当識障害，言語障害など）を伴う病気，その症状は短期間（通常は数時間～数日）でかつ変動を示す傾向があるのが特徴です。特に術後せん妄は術後患者のおよそ40%に発症し，術後1~3日目に集中するとされており，特に心臓血管手術は術後せん妄が多発する術式として知られています。周術期に使用した薬剤や感染の合併，ショック，低酸素，発熱，貧血，脱水，その他多くの原因が考えられています。本研究では，せん妄発症の原因として，特に薬剤の影響について調査します。

### 【研究意義】

術後ICU入室において，不眠や長期在室によるストレスにより睡眠薬を使用するケースや鎮静剤を用いるケース等がありますが，薬剤を使用したにも関わらず，せん妄・興奮状態となる患者が散見されます。せん妄発症の要因，特に薬剤の検討を行うことで，せん妄発症の減少，さらには患者予後の改善につながる可能性が考えられます。

### 【調査の対象となる患者さん】

#### ・ 選択基準

2014年1月～2016年12月の間に心臓血管手術施行され，ICU入室となった患者さん

#### ・ 除外基準

術前より認知症診断のある患者さん

### 【方法】

対象の患者さんの性別、年齢、術前・術後投与薬剤（手術前は7日前まで）、

Cre、赤血球数、HGB、ALB、血清Na値、血清K値、血清Cl値、術後気管内挿管の有無、せん妄発症歴、脳関連疾患の有無についてカルテ調査を行います。

**【個人情報の取り扱い】**

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

**【研究実施体制】**

研究機関：愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者：准教授 田中 亮裕

研究分担者：

薬剤部副部長 田中 守

薬剤師 内舩 健

薬剤師 檜垣 宏美

松山大学 薬学部

教授 野元 裕

准教授 中西 雅之

助教 日野 真美

特任講師 高取 真吾

実習生 大南 貴裕

**【研究に関する問い合わせ先】**

本研究からご自身の情報を除いてほしいという方は、下記の連絡先までお申し出ください。

また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は下記の連絡先まで連絡をお願いします。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

研究責任者：准教授 田中 亮裕

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号：089-960-5731

e-mail: akiki@m.ehime-u.ac.jp

